

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・言葉			17633	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

### 授業の到達目標

乳幼児期の言葉の発達の概要を理解する。言葉を獲得し思いを伝え合うようになるための環境や遊び、指導援助の方法について学ぶ。発達を理解し、生活の流れに即した教材選定力や保育指導案の作成力と実践力を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのK(思いやり)とI(知性)を養う。

### 授業の概要

乳幼児の言葉の発達を詳説し、視聴覚教材を活用して、さらにイメージを確かなものにする。そして、言葉の育ちを促す絵本やお話の教材研究や、保育指導案作成と模擬保育を行う。また、発達に即した教材制作を通して言葉を育む環境を整え、乳幼児の豊かな言葉と言語活動を育てる保育を学ぶようにする。

### 授業計画

- 1 領域「言葉」について
- 2 乳幼児の言葉の育ちを支える要因
- 3 1歳未満児の発達と言葉の獲得
- 4 1歳未満児の言葉の発達を促す保育と教材
- 5 満1歳以上満3歳未満児の発達と言葉の獲得
- 6 満1歳以上満3歳未満児の言葉の発達を促す保育と教材
- 7 満3歳以上の幼児の発達と言葉の獲得
- 8 満3歳以上の幼児の言葉の発達を促す保育と教材
- 9 言葉の獲得において特別な支援を要する乳幼児への保育
- 10 豊かな言葉を育む児童文化(歌、手遊び、言葉遊び)(情報機器及び教材の活用を含む)
- 11 豊かな言葉を育む児童文化(絵本や紙芝居)
- 12 豊かな言葉を育む児童文化(人形劇やペープサート、パネルシアターやエプロンシアター等)
- 13 模擬保育実践とカリキュラムマネジメント
- 14 伝え合い分かり合う楽しい劇遊び(情報機器及び教材の活用を含む)
- 15 まとめを行ってから試験をする

### 授業の方法

講義を主とするが、言葉を育む保育実践についての発表を加える。また、教材を制作し教育実習や保育実践にいかす。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①課題シートの提出を求め、模擬保育(乳児用・幼児用読み聞かせ指導案や教材の作成を含む)を行う。講義の中でフィードバックを行う。
- ②平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点、遅刻1回につき1点の減点とする。

### テキスト

岸井勇雄・無藤隆、湯川秀樹[監修]太田光洋[編著]『保育・教育ネオシリーズ20 保育内容・言葉 第三版』2018年(株)同文書院

### 参考図書

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』 株式会社フレーベル館

### 留意事項

保育の基礎技術を高めるため、わらべ歌や言葉遊び、絵本、幼児用テレビ番組などに日頃から親しんでおくこと。地域の図書館での企画展示やおはなし会などに関心をもち見ておくこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
社会的養護 I			17639	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
曾田 里美	選択	2	児童養護施設職員			

### 授業の到達目標

社会的養護の理念、歴史、制度と実施体系等について理解する。社会的養護の背景にある社会や家庭における児童問題を学ぶとともに、社会的養護における児童の人権擁護と支援の実践について理解を深めることを目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのS(奉仕)を養う。

### 授業の概要

社会的養護とは何か、なぜ児童問題が起きるのか、社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割等について学ぶとともに、子どもたちを積極的に護るための実践を裏づける原理原則について学習する。特に、社会的に子どもを養育する施設では、子どもと家族の育成に積極的にかかわっていくための知見や技術が必要となっている。このため、(1)社会的養護が必要となる養護問題の現状や背景、(2)社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割、(3)児童福祉施設などにおける養護の実践を理解し、児童観や施設養護観を身につける。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション 社会的養護トピックス
- 2 私たちが生きる社会
- 3 社会的養護の体系
- 4 施設への入所に至る経過
- 5 施設における生活①
- 6 施設における生活②
- 7 施設における生活③
- 8 施設における生活④
- 9 施設における支援—ライフストーリーワーク—
- 10 施設の利用方式
- 11 利用・契約制度を基本とする施設
- 12 社会的養護の歴史
- 13 施設における支援内容
- 14 里親制度
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義を主とするが、必要に応じて視聴覚教材等で社会的養護の現状

について理解を深める。また、ディスカッションや発表を取り入れ双方向の授業を行う。

### 準備学修

日ごろから、現代の子どもを取り巻く環境に対して関心を深めておくこと。

### 課題・評価方法、その他

評価方法は、平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

公欠以外の欠席は原則認めない。欠席は成績評価において減点する。

### テキスト

原田旬哉・杉山宗尚 編著『図解で学ぶ保育 社会的養護 I』萌文書林、2018、ISBN 9784893472793

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
生徒指導論（進路指導を含む）	教職小		17753	Ⅱ/Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭 中学教頭 小学校校長			

### 授業の到達目標

生徒指導の理論と方法、教育相談、進路指導について学ぶ。この講座ではKAISEIパーソナリティのA（自律）でコミュニケーション能力を養い、事例研究の実践でK（思いやり：傾聴力）とI（知性）状況把握力を高める訓練をする。

### 授業の概要

教科書（文部科学省「生徒指導提要」）を参考資料として授業を進める。生徒指導の方法や生徒理解について考察し、実際の取り組み方を学んでいく。さらに、教育相談の手法を学び、進路指導、キャリア教育も生徒指導の視点から考察する。

### 授業計画

- 1 生徒指導の意義と目的・「生徒指導提要」の改訂
- 2 教職員の人権感覚・組織対応
- 3 教育の現場の実践から学ぶ
- 4 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導①
- 5 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導②
- 6 セクシャルマイノリティの理解
- 7 性に関する課題
- 8 いじめ問題・情報モラル
- 9 インターネット・携帯電話に関わる問題
- 10 少年非行①
- 11 少年非行②
- 12 自殺
- 13 安全防災教育・危機管理
- 14 進路指導とキャリア教育
- 15 まとめテスト

### 授業の方法

授業は「生徒指導提要（令和4年12月）」にそって、毎回配布するレジュメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら学習を深める。講義を主とするが、グループワークなども取り入れる。

### 準備学修

テキスト「生徒指導提要（令和4年12月）」（文部科学省）を読むしておくこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

やむをえない事情があるときは、事前事後に届け出ること。

### テキスト

文部科学省編「生徒指導提要（令和4年12月）」

### 参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

### 留意事項

毎回の授業のレジュメと資料をファイルに整理し、最後に提出。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
社会的養護Ⅱ			17640	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
曾田 里美	選択	1	児童養護施設職員			

### 授業の到達目標

現代の子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、それに伴い家庭での養育機能は脆弱化している。家庭養育だけでは子どもの養育は困難な状況となり、国や社会で子どもたちを養育・保護する「社会的養護」が重要となる。地域社会をも含めた施設養護および家庭養護の本質と機能を理解し、援助技術について実践的活動事例を通して学びを深める。このクラスではKAISEIパーソナリティのS（奉仕）を養う。

### 授業の概要

家庭のもとを離れて施設や里親家庭で生活する社会的養護の子どもたちの背景や実情を理解するとともに、子どもたちが置かれている状況について想像力を働かせ、必要な関わりや支援につなげていくことを目指す。児童養護施設、児童虐待、里親、生い立ちの整理、子どもの貧困など社会的養護に関連する新聞記事や事例、映像などを通して、子どもやその家族の実態や問題の背景について理解を深める。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション 社会的養護Ⅱを学ぶにあたって
- 2 施設における生活と支援
- 3 児童養護施設の事例
- 4 「こうのとりのゆりかご」を通して考える社会的養護①
- 5 「こうのとりのゆりかご」を通して考える社会的養護②
- 6 乳児院の事例
- 7 里親家庭の事例
- 8 まとめ
- 9
- 10

### 授業の方法

講義とディスカッションを中心とする。双方向の授業のため積極的な参加を求める。

### 準備学修

日ごろから新聞、ニュース等で子どもを取り巻く問題に関心を深め

ておくこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

公欠以外の欠席は原則認めない。欠席は成績評価において減点する。

### テキスト

必要に応じて資料を配布する。